

2026年2月9日

岡山県経営者協会

会長 野崎 泰彦 様

日本労働組合総連合会
岡山県連合会(連合岡山)
会長 小橋 政次



連合岡山「2026 春季生活闘争」に関するお願い

貴職におかれましては、平素から連合岡山の諸活動に対して、多大なるご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。また、安心して働くことができる労働環境の改善に向けた貴協会の取り組みと健全な労使関係の積み上げにご尽力いただき、心より敬意を表します。

2025 春季生活闘争において岡山県内では、2年連続で4%台の賃上げを実現しましたが、生活向上を実感している人は少数にとどまっています。とりわけ中小企業や労働組合のない職場で働く人々のくらしは厳しく、個人消費は依然として低迷しています。多くの人が生活向上を実感し、将来への希望と安心感を持つことができてこそ、賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せることが出来ます。

デフレマインドには二度と戻らない“ノーモア・デフレマインド”の決意を社会全体で共有することが重要です。2026 春季生活闘争は、日本の実質賃金を1%上昇軌道に乗せ、これからの“賃上げノルム”としていくことをめざします。

みんなの生活向上には、賃金のみならず、長時間労働の是正と豊かな生活時間の確保も欠かせません。賃金・労働時間などの労働条件や生産性向上について、労使が集中的に議論を重ねるのが「みんなの春闘」です。将来にわたり人材の確保・定着させ、日本全体の生産性を高めていくためには、継続的な「人への投資」「未来への投資」が重要です。

連合は、私たち一人ひとりが「未来づくり春闘」をけん引する主役であることを自覚し、2026 春季生活闘争において、すべての働く仲間のために「未来づくり春闘」を推進します。

貴協会を通じ、経営者、使用者の皆様方に以下のとおり申し入れます。特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。